

雪害による犠牲者発生の変因等総合調査(参考資料)

1. 昨冬の犠牲者の傾向(死者・重傷者の全数対象 N=296)
2. 現地ヒアリングの参考結果
3. 主な被災事例の概要等
4. 各地域における取り組み事例
5. 個別被災事例 調査項目

平成20年12月25日

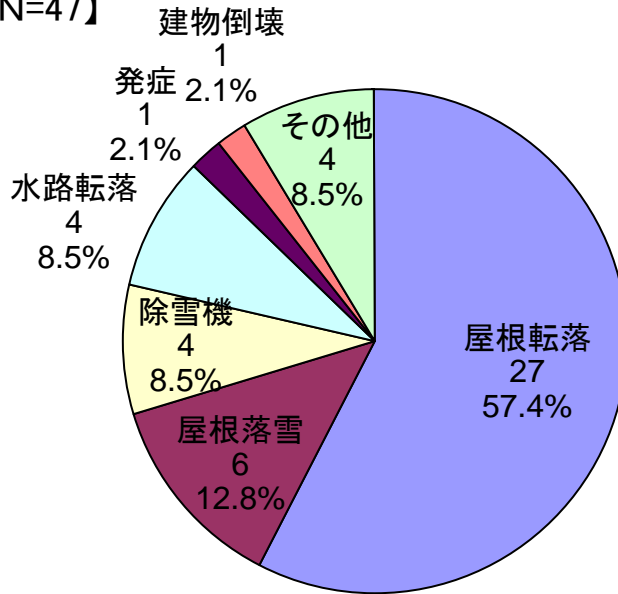
内閣府政策統括官(防災担当)付参事官付
国土交通省 都市・地域整備局 地方振興課

1. 昨冬の犠牲者の傾向(死者・重傷者の全数対象)

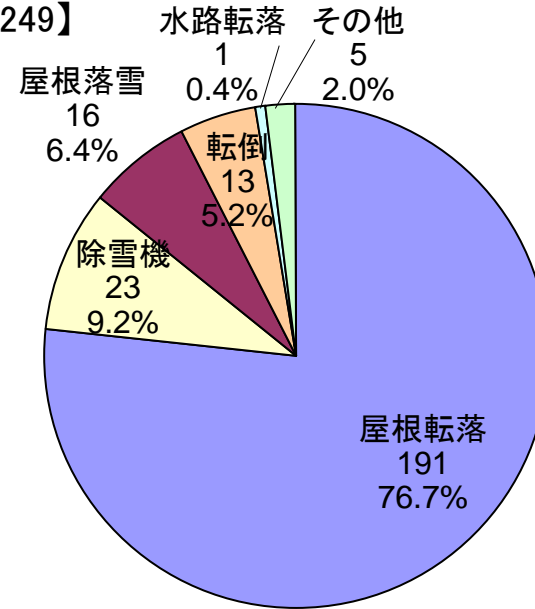
①原因別構成 (N=296)

- 死者は、屋根からの転落が約6割(57.4%)。
屋根からの転落、屋根からの落雪、除雪機で約4分の3(78.7%)を占める。
- 重傷者は、屋根からの転落が約4分の3(76.7%)。
屋根からの転落、除雪機、屋根からの落雪で9割以上(92.4%)を占める。

【死者 N=47】



【重傷者 N=249】

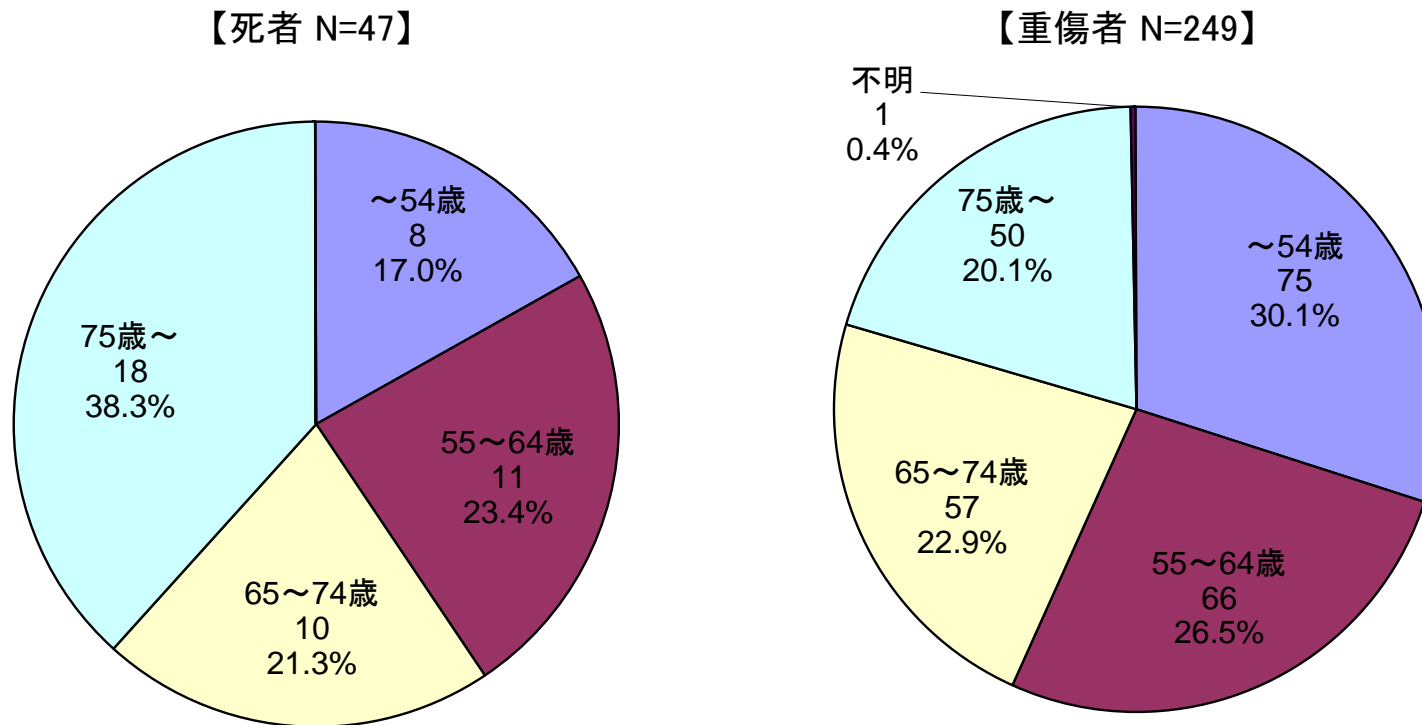


- 屋根転落 : 屋根からの転落による事故(はしごからの転落を含む)
- 屋根落雪 : 屋根からの落雪による事故
- 除雪機 : 除雪機による事故(ひかれる、はさまれる)
- 転倒 : 除雪中の転倒事故
- 水路転落 : 水路、側溝、池への転落事故
- 発症 : 除雪中の心疾患、脳疾患などの発症
- 建物倒壊 : 雪の重さで倒壊した家屋の下敷きになった事故
- その他

(備考) 国土交通省地方振興課から道府県への
照会調査(平成20年8月)の結果を基に作成

②年齢別構成 (N=296)

- 死者は、65歳以上の高齢者が約6割（59.6%）。
その高齢者のうち約3分の2が75歳以上、全体でも4割近くを占める（38.3%）。
- 重傷者は、65歳以上の高齢者が約4割（43.0%）。
死者と比較して、54歳以下の割合が約3割と高くなっている（30.1%）。

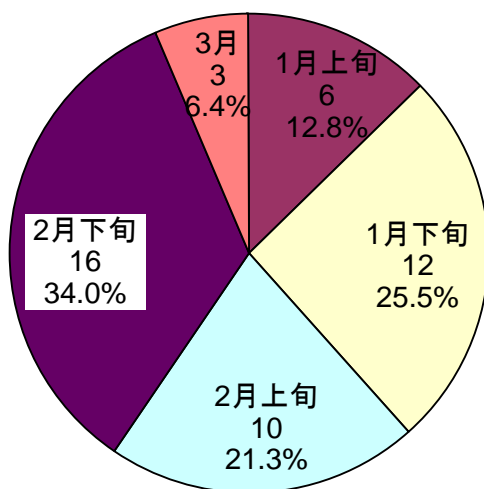


(備考)国土交通省地方振興課から道府県への照会調査(平成20年8月)の結果を基に作成

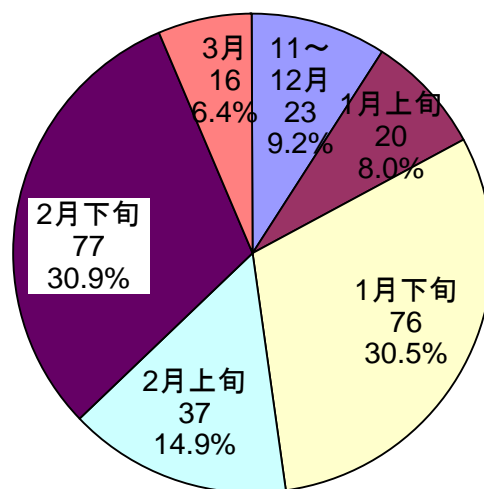
③事故発生時期 (N=296)

- 死者、重傷者ともに、1月下旬及び2月下旬の事故発生が約3割程度と多くっており、この時期は降雪量が比較的多くなっている
- 12月までの事故は、重傷者のみである。

【死者 N=47】



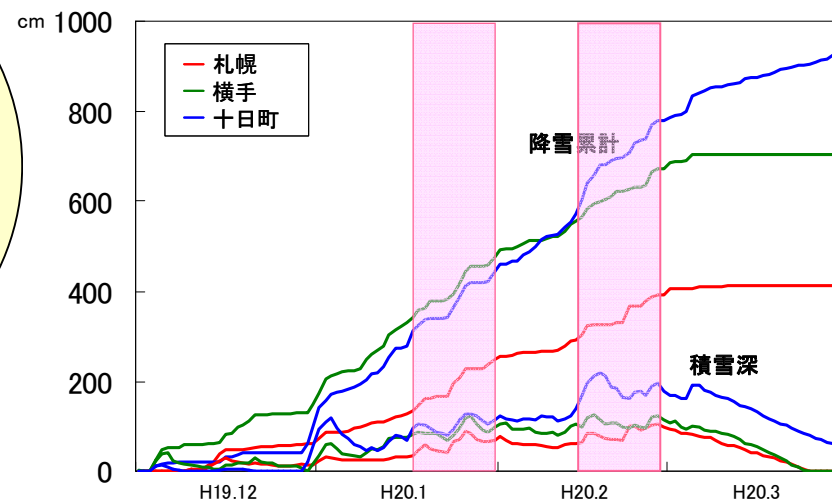
【重傷者 N=249】



(備考) 国土交通省地方振興課から道府県への照会調査(平成20年8月)の結果を基に作成

【昨冬の降雪・積雪の状況】

- 札幌 降雪累計 413cm 最大積雪深 106cm
- 横手 降雪累計 704cm 最大積雪深 126cm
- 十日町 降雪累計 931cm 最大積雪深 219cm

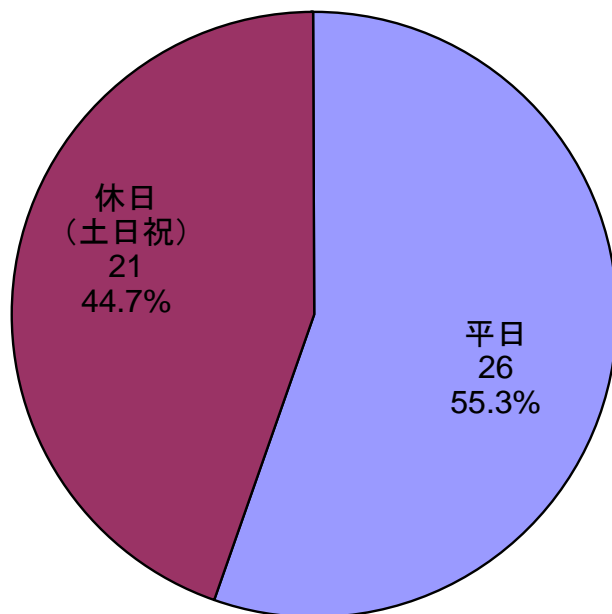


(備考) アメダスデータより作成

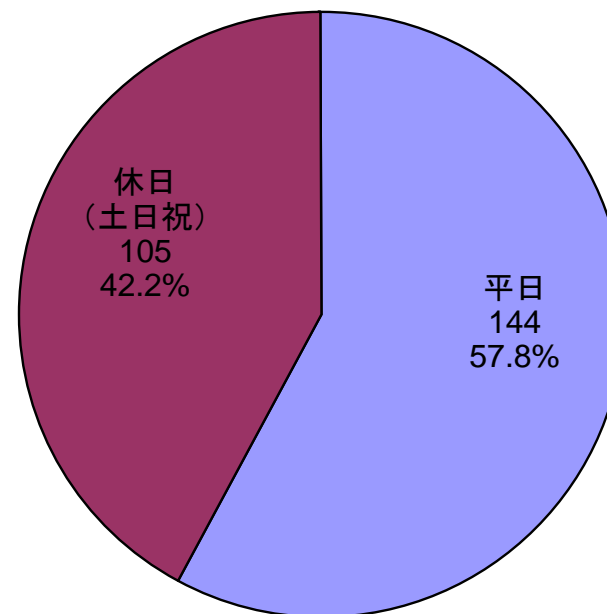
④事故発生の曜日 (N=296)

- 死者、重傷者ともに、休日よりも平日のほうが事故がやや多い。

【死者 N=47】

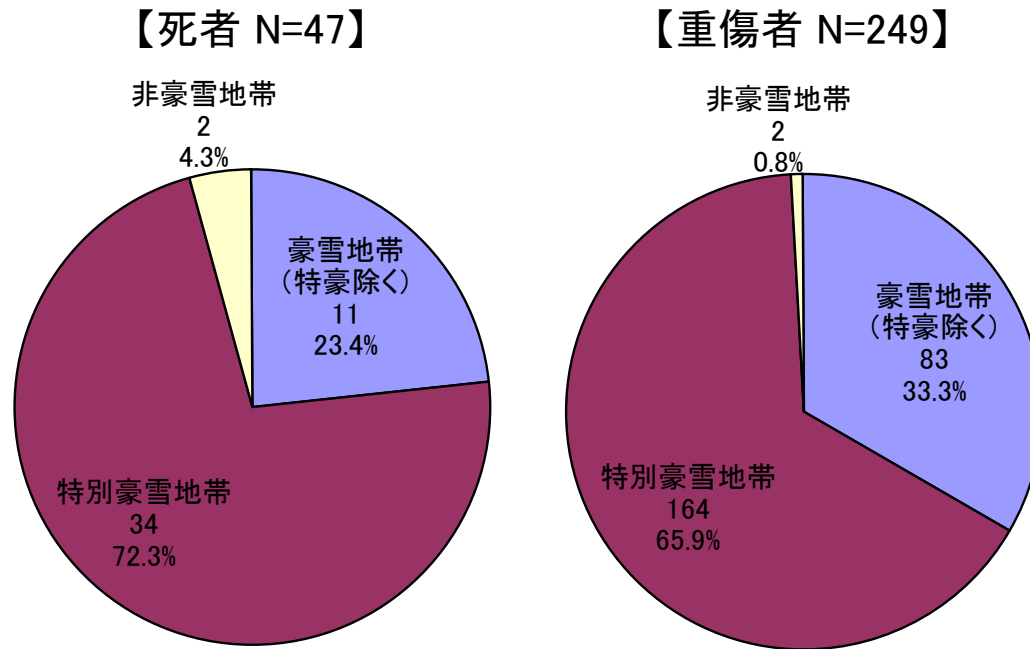


【重傷者 N=249】

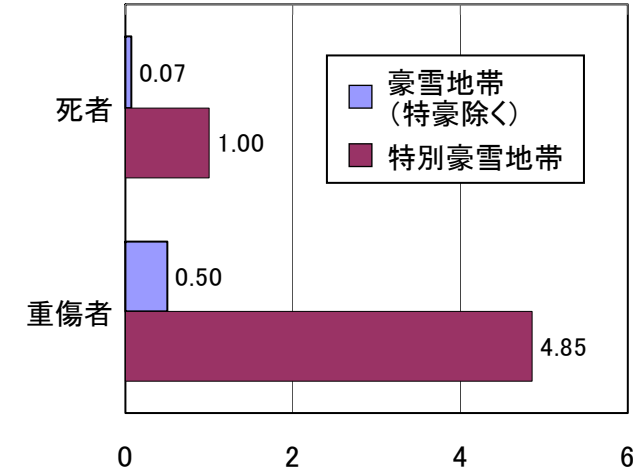


(備考)国土交通省地方振興課から道府県への照会調査(平成20年8月)の結果を基に作成

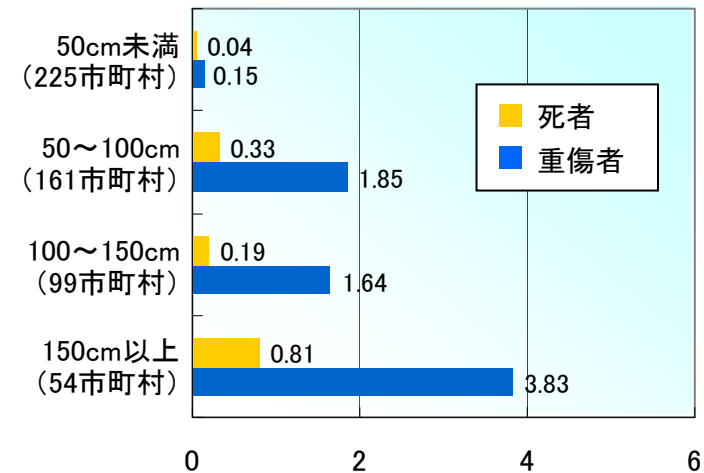
⑤人口10万人あたりの雪による犠牲者 (N=296)



人口10万人あたりの犠牲者数



昨冬の最大積雪深でみた人口10万人あたりの犠牲者数



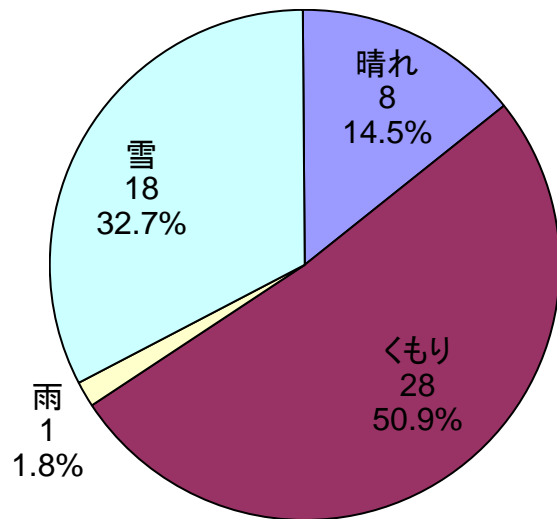
- (備考) 1 「豪雪地帯」に指定されている市町村の犠牲者のうち、全域及び一部の区域が「特別豪雪地帯」に指定されている市町村の犠牲者は、「特別豪雪地帯」として集計し、それ以外については、「豪雪地帯」(特豪除く)として集計
- 2 国土交通省地方振興課から道府県への照会調査(平成20年8月)の結果を基に作成
- 3 人口10万人あたりの犠牲者数の算出には、平成17年国勢調査の値を引用(豪雪地帯20,132千人 特別豪雪地帯3,384千人)
- 4 昨冬の最大積雪深でみた人口10万人あたりの犠牲者数の算出には、各市町村の代表する最大積雪深(平成20年度豪雪地帯基礎調査より)を用いており、データがない市町村は除いている。また、市町村の一部が豪雪地帯に指定されている場合も、市町村全域の人口を用いて値を算出している。

2. 現地ヒアリングの参考結果

①天候、気温、場所(一次ヒアリング事例を対象)

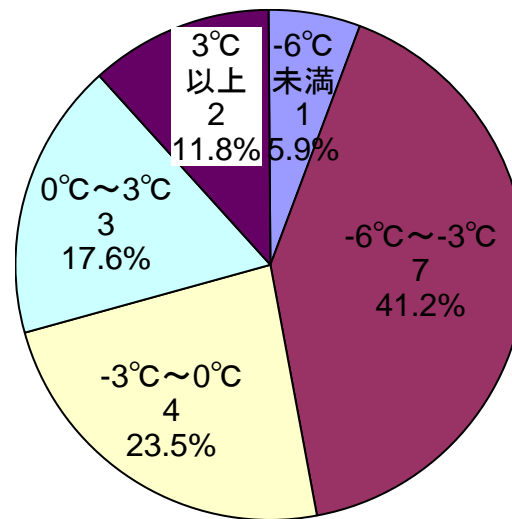
- 一次ヒアリング事例における事故発生時の天候は、くもりが約半数(50.9%)、雪が約3割(32.7%)。
- 天候及び気温と事故発生との因果関係は、今回の調査結果ではわからなかった。
- 事故発生場所は、自宅(敷地内)が5割以上。(不明を除くと66.7%)

【事故発生時の天候 N=55】



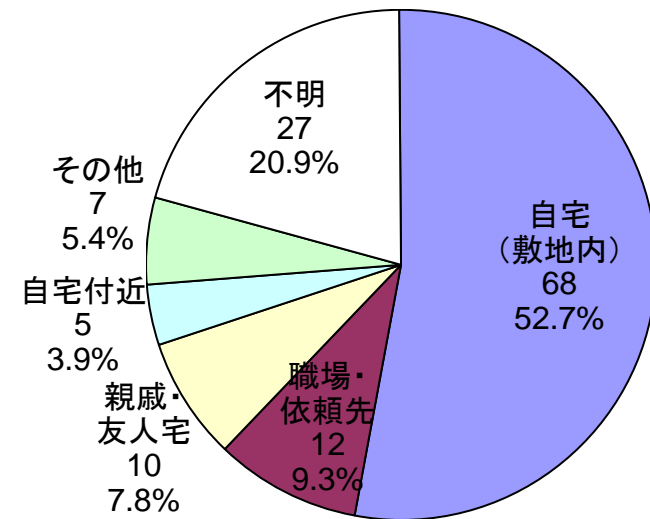
(備考) 一次ヒアリングで天候が不明だった事例を除いて集計

【事故発生時の気温 N=18】



(備考) 一次ヒアリングで気温が不明だった事例を除いて集計

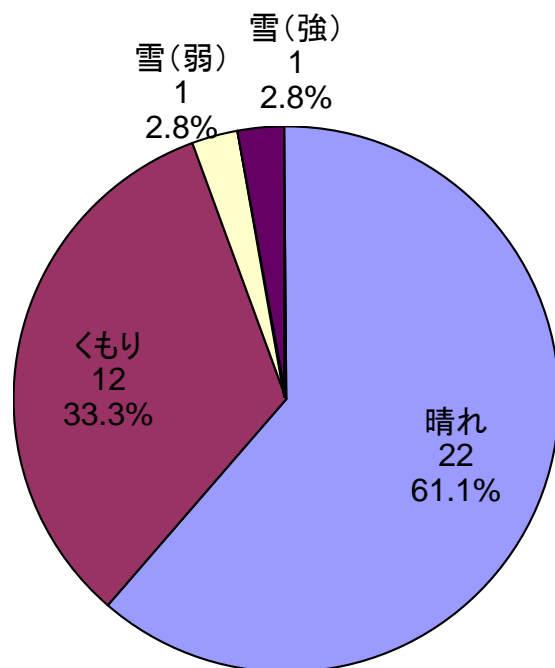
【事故発生場所 N=129】



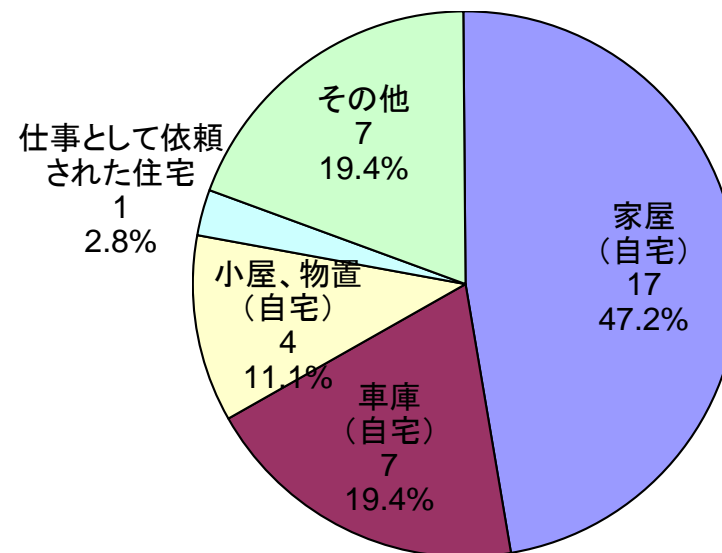
②天候、場所(二次ヒアリング事例を対象 N=36)

- 二次ヒアリング事例における事故発生時の天候は、晴れが約6割(61.1%)、くもりが約3割(33.3%)であり、降雪時の事例は2件と少ない。
- 事故発生場所は、自宅(家屋、車庫、小屋・物置)が約4分の3(77.7%)を占める。「その他」は、隣の貸家、隣家の敷地、親戚宅、自宅近くの倉庫前、高校のグラウンド(除雪機の事故)など。

【事故発生時の天候 N=36】



【事故発生場所 N=36】

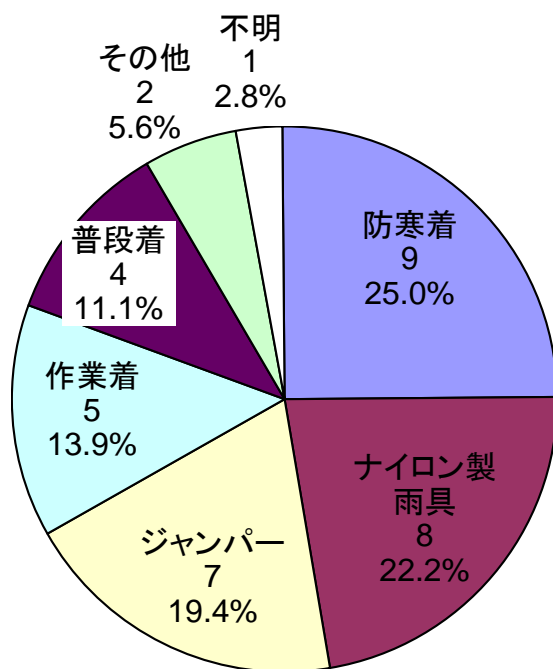


(備考) 二次ヒアリングで被災者本人または家族から聞き取りをした天候をもとに集計

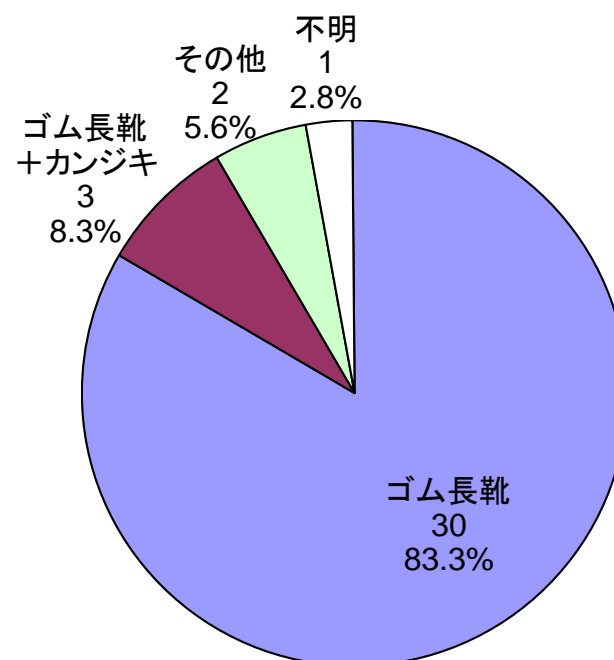
③服装、履物(二次ヒアリング事例を対象 N=36)

- 事故発生時の服装は、防寒着が4分の1(25.0%)、次いで、ナイロン製雨具及びジャンパーが約2割、作業着及び普段着が約1割。
- 事故発生時の履物は、約9割がゴム長靴(91.6%、カンジキと一緒に含む)。

【事故発生時の服装 N=36】



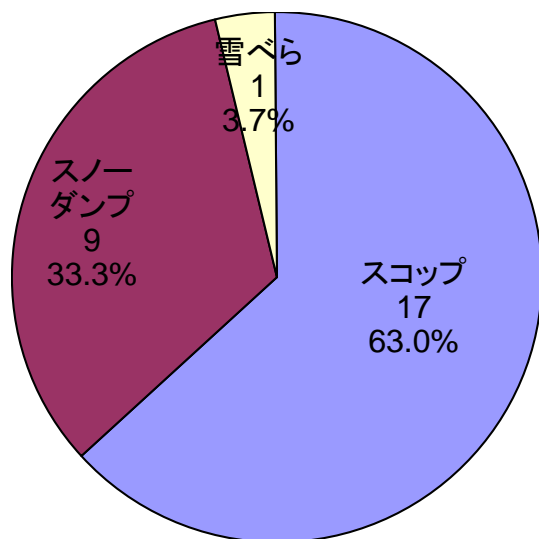
【事故発生時の履物 N=36】



④雪下ろしの道具(二次ヒアリング「屋根転落」事例を対象 N=27)

- 事故発生時の雪下ろしの道具は、約6割がスコップ(63.0%)、約3割がスノーダンプ(33.3%)。
- 屋根の上からの転落とはしごからの転落では、道具の種類に大きな差はない。(グラフ略)
- はしごからの転落事故(12件)では、脚立とアルミ製はしごが多くなっている。

【雪下ろしの道具 N=27】



(参考)

スコップ

アルミ: 10件

鉄: 4件

アルミ+プラスチック: 2件

プラスチック+鉄: 1件

スノーダンプ

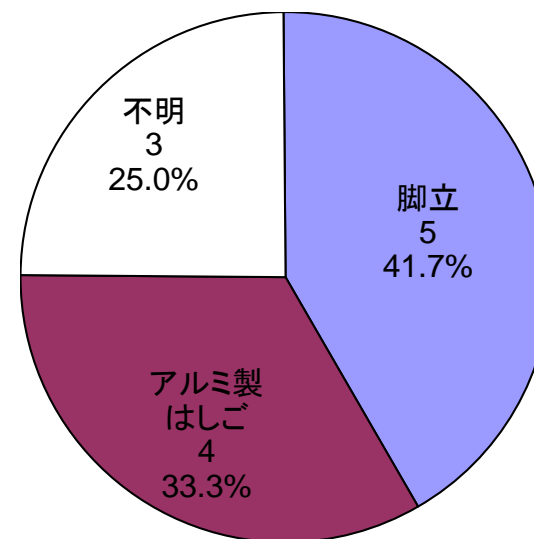
アルミ: 3件

プラスチック: 3件

鉄: 2件

ステンレス: 1件

【はしごの種類 N=12】



(備考) はしごからの転落事故のみを対象。

3. 主な被災事例の概要等

(1) 被災事例の概要

① 屋根の上からの転落事故の例

◆ 屋根の雪が滑り落ちてきてバランスを崩して転落

(重症 50歳代 男性 新潟県)

- ・ 落雪式屋根の小屋で、トタンが古くなっているため、雪が落ちずに1m以上屋根にたまっていた。
- ・ 屋根の上に積雪を30cmくらい残して雪下ろし作業を終えたところ、気温が暖かく、雪がゆるんだようで (晴れ、午後3時) 屋根の雪が一気に滑り落ちてきて一緒に転落した。
- ・ 屋根の下には水路があり、その近辺だけは積雪がなく、その場所に転落して腰を強打した。
- ・ 妻が近くで野菜を掘り出していたため、発見は早かった。

◆ スノーダンプでの作業がきっかけで転落

(重症 70歳代 男性 新潟県)

- ・ 朝9時過ぎから、1人で高さ4mの屋根に上り、スノーダンプ(鉄製)で20cm積もった雪を除雪していた。
- ・ スノーダンプが古かったため、軒先で雪を下に投げ落とす際に、スノーダンプに雪がくっついてしまい、体ごと一緒に持っていかれた。高齢で踏みとどまる力がなかった。
- ・ 家の周辺は除雪しており、コンクリート路面のところに転落し腰を強打した。家族がすぐ気づいた。

◆ 屋根の上でスリップして転落

(死亡 80歳代 男性 山形県)

- ・ 屋根の積雪は30cmほどであったが、下に止める車の上に雪が落ちないように、16時頃から被災者が1人で1階屋根に上り、スノーダンプで雪下ろしをしていた。
- ・ その後、息子が帰ってきて、被災者は西側の屋根で、息子は反対側の屋根で雪下ろしを始めた。
- ・ 2人で作業を始めて少したった頃、被災者が足を滑らせたともみられ、屋根から1.2m転落し、その後地面の雪で滑って隣地境界のブロック塀に衝突した。息子がすぐに気づいたが頭を強く打っていた。

②はしごからの転落事故の例

◆はしごの足が地面で滑って、はしごと一緒に転落

(重症 60歳代 男性 秋田県)

- ・ 自宅の車庫(カーポート、高さ3m)の雪下ろしをするため、1人ではしごをかけて上っていた。
- ・ はしごの足が後ろに滑り、はしごと一緒に転落。屋根雪は60cm、車庫周辺は積雪なし(除雪後)。
- ・ はしごの足についている滑り止めのゴムは冬はほとんど機能しない。
- ・ いつもは軽トラックではしごを固定しているが、このときは固定していなかった。
- ・ 転落した後は動くことができず、携帯電話で自宅内の家族に連絡をして助けてもらった。

◆はしごから屋根に移動する際に転落

(重症 50歳代 男性 秋田県)

- ・ 自宅屋根(通路部分)の雪下ろしのため、1人で脚立(果樹作業用、高さ1.8m)に上がっていた。
- ・ 脚立の上から屋根の雪を落として足場を確保した後、脚立からとび移ろうとした。足は屋根にかかったが体重移動がうまくいかず、後ろに下がってしまった。
- ・ はしごは固定しており、倒れなかったが、足が脚立にはさまってしまい骨折。

◆はしごの上から雪庇を落としていてバランスを崩し転落

(重症 50歳代 男性 青森県)

- ・ 夫婦でカーポートの屋根を除雪。自然落雪式だが雨どいに雪がひっかかって落ちてこなくなった。
- ・ 被災者は脚立(高さ1.5m)の一番上に乗り、直上よりやや離れた場所に腕を伸ばしてカーポートの屋根雪(雪庇)を除雪していたところ、バランスを崩して腰部から落下。下はコンクリート。

③屋根からの落雪による事故の例

(死亡 80歳代 男性 山形県)

- ・夫婦2人で家の中にいたが、落雪の音がしたので午前10時半頃に被災者が1人で様子を見に行った。
- ・その後、午前11時ごろに妻が雪の落ちる音を聞いた。
- ・お昼になって呼びに行ったところ、縦8メートル、横2.7メートル、深さ30センチの融雪用水槽の中で身体全体が約70センチの雪に埋もれていた。
- ・融雪用水槽は、屋根から落ちる雪がそのまま水槽に落下し、融かせるような位置に設置されていた。

④除雪機による事故の例

◆トラクターが動き出して下敷き

(死亡 50歳代 男性 北海道)

- ・被災者は30年間道路除雪に従事しており、これまで自宅の除雪作業は妻が一人でトラクターで行っていたが、昨年は道路除雪をせず、自宅にいたため、自分で家(倉庫)の除雪作業を行った。
- ・一週間くらい吹雪が続き、積雪も多かった。久しぶりに晴れたので除雪作業を行った。
- ・農機具倉庫と道路の間をトラクターで除雪作業中、バケットの雪をとるため、ギアをニュートラルに入れたが、**振動によりギアが入り**、前進してきてバケットにはさまれて死亡したと考えられる。

◆雪詰まりを取り除こうとして巻き込まれ

(重症 40歳代 男性 新潟県)

- ・雪山の雪を除雪し終えた頃、除雪機のシューターとオーガの間に雪が詰まった。
- ・作業効率が落ちるため**エンジンは止めなかった**が、オーガの回転を止めたつもりだった。
- ・雪詰まりを取り除く棒がなかったので、**手で取り除こうとして指を巻き込まれてしまった**。

⑤水路等への転落事故の例

(死亡 60歳代 男性 北海道)

- ・ 17時頃に融雪槽に投げ入れているところを近所の人が目撃している。
- ・ 発見時は、融雪槽の安全柵は取り外されていた。
- ・ 22時過ぎに妻が帰宅し、被災者がいなかったのであちこちに確認し、通報を受けて駆けつけた警察署員により、自宅敷地内の融雪槽の中で発見。
- ・ 発見時、融雪槽に電源は入っており、長靴とスコップも融雪槽の中にあった。

⑥除雪に伴う発症の例

(死亡 50歳代 男性 山形県)

- ・ 自宅の1階屋根(高さ4m)の上で、雪下ろしをしていたところ、急に座り込んで倒れた。
- ・ 向かいの人が、倒れるところ見ており、119番通報したが、約1時間半後に死亡。
- ・ 屋根に上がってすぐに倒れており、ほとんど作業はしていない。
- ・ 父親は本人に、この日は天気がよく暖かったため屋根に上がらないようにと言っていたが、気づかないうちに上がっていた。

⑦雪による建物倒壊の例

(死亡 10歳代 男性 広島県)

- ・ カーポートが雪の重みで傾き、勝手口のドアにもたれかかって、少し開いた状態で閉まらなくなっていた。
- ・ 被災者が屋内からドアにもたれ掛ったカーポートを押し上げようと作業していたが、さらにカーポートの上に母屋の屋根から落雪があり、その反動でドアが閉まって体を挟まれた。

⑧その他(除雪中の転倒)の例

(重傷 40歳代 男性 山形県)

- ・ 父親が屋根の雪を下ろし、被災者が下で雪を融雪溝に投入していた。
- ・ 朝の8時頃から作業を開始し、9時頃に凍結したスロープ状の足場で、融雪溝のグレーチングを外そうと持ち上げたところ、バランスを崩して転倒した。

(2) 雪害以外の被災事例(一次ヒアリングより)

※以下は、第一次ヒアリングで各関係機関から得た各地域の状況を抜粋したものであり、雪国全般の傾向を述べたものではない。

◆雪道での歩行中の転倒

- ツルツル路面での歩行中の転倒が多い。観光客の転倒事故も多くなっている。
- 午前9～10時の融けはじめる頃、午後3～4時の凍りはじめる頃に転倒事故が集中する。
- 雪道での転倒は高齢者が多い。骨折して、転倒事故から寝たきりになるケースもある。
- 玄関先や敷地内での転倒も多い。

◆自動車のスリップ事故

- 雪の降りはじめは、慣れていないせいか交通事故が多く、雪に慣れてくると事故も減ってくる。
- 湿った雪ほど車は滑りやすい。少し融けた水がスリップの原因となるため、朝方の朝日が差しはじめた頃に事故が起きやすい。
- 路面が凍結した時に交通事故が多い。特に朝方と夕方の通勤ラッシュの時。
- 自動車のスリップ事故は、スキー客を中心に多い。4WDやスタッドレス、チェーンへの過信が一因。

◆雪山による山岳事故・雪崩

- 冬山登山では、天候をよく確認しなかったために事故となることが多い。
- 雪崩事故はスキー場が多い。発生件数は雪の量次第である。
- 各登山口で年末年始に注意喚起の呼びかけ・チラシ配布等を実施。一部で、登山指導・相談所設置などを行っている。

◆スキー等のレジャーの事故

- スノーボーダー等の遭難や転落は、立入禁止区域を滑っていたために起こることが多い。
- スノーボードで転倒して頭を打ったり、スキーヤー、スノーボーダーどうしの衝突事故が多い。

4. 各地域における取り組み事例

視点① 必ず2人以上で

「地域コミュニティで協力して雪害防止」
「2人以上で」注意喚起

(市民の皆さんへ)

力をあわせ地域ぐるみで雪害を防ぎましょう。

天気予報によりますと、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で、まだしばらく降雪が続きますので、引き続き除排雪作業に御協力をお願いいたします。
なお、除排雪に当たっては、次のことに注意してください。

- ① 雪おろしの際は、二人以上で、お互いに注意しあいながら行ってください。
特に、高齢者の事故が増えますので十分注意しましょう。
- ② 流雪溝は決められた時間とルールを守り利用しましょう。
また、流雪溝を使用した後は、しっかりと蓋を閉めてください。蓋が開いたままでは、大きな事故につながります。
- ③ 側溝や、農業用水路への投雪は、水害防止・防火用水確保のためやめましょう。
- ④ 一人暮らし、高齢者世帯や季節就労で留守家庭などの除雪には、地域みんなで協力しましょう。
- ⑤ ビニールハウスの側溝や果樹の枝折れ防止のため、早めの雪処理を徹底しましょう。
- ⑥ 消火栓やポンプ置場は、みんなで除雪に協力し、万が一に備えましょう。
- ⑦ 地震や火災など万が一の災害に備え、避難口を確保しておきましょう。
- ⑧ 積もった雪で、車と人がお互いに見えにくくなっています。安全確認を十分にし、交通事故は起こさない、また避けないようにしましょう。
- ⑨ 気温が上がると屋根や樹木から雪が落ちることがありますので、軒下や高い樹木の下を歩くときは、十分注意しましょう。
また、雪崩の危険がありますので、傾斜地には近づかないようにしましょう。

平成20年2月 湯 沢 市

資料：市民向けチラシ(湯沢市提供)

市町村におけるボランティア休暇の制度

【ボランティア休暇】
職員が自発的に、かつ、報酬を得ないで次に掲げる社会に貢献する活動を行う場合で、勤務しないことが相当であると認められるとき、一年において**5日の範囲内の期間**で得られる休暇。

ア 地震、暴風雨、噴火等により相当規模の災害が発生した被災地又はその周辺の地域における生活関連物資の配布その他の被災者を支援する活動
イ 身体障害者療護施設、特別養護老人ホームその他の主として身体上若しくは精神上の障害がある者又は負傷し、若しくは疾病にかかった者に対して必要な措置を講ずることを目的とする施設であって市長が定めるものにおける活動
ウ ア及びイに掲げる活動のほか、身体上若しくは精神上の障害、負傷又は疾病により常態として日常生活を営むのに支障がある者の介護その他の日常生活を支援する活動

妙高市より聞き取り

町内会の自主的な除雪パトロールによる
見守り、助けあいの活動

まち町内会皆さんへ
まち町内会役員各位

平成 18 年 1 月 12 日
まち町内会
会長

とんだ豪雪だ !!
助け合おう身近から
“町内除雪パトロールにご協力を”

今冬は、異常気象・地球温暖化のツケが牙をむき出し豪雪となっています。シベリア圏寒冷渦が異常な形で吹き出して南下し、日本列島が近年にない大雪に襲われました。
各ご家庭では、遠目雪片付けに大変ご苦労されている事と思います。又、各地では、雪害事故が多発し高齢者のお年寄りが雪まじい犠牲と成っています。さて、こうした異常な状況と成っている昨今ですので、町内役員会においても一日も早く対策が必要と、下記の要領で例年行ってきた除雪パトロールを実施する事と決定致しましたので、町内会の皆さん様、積極的ご参加をお願い申し上げます。

記

除雪パトロールの実施について

- 1.実施時期 1月22日・29日午前10時～2時間程度
2月5日・12日午前10時～2時間程度
- 2.集合場所 まち自治公民館
- 3.除雪パトロールの内容
公民館、ゴミ集積所、消火栓、高齢者住宅、通学路を重点にパトロールし、除雪を行う。但し、老人宅の住宅は、雪害事故の危険のある時、又は、本人から要望がある時に致します。
- 4.参加範囲
まち町内会全役員(公民館運営委員含む)と自主的ボランティア参加者

以 上

資料：住民向け案内(米沢市社会福祉協議会提供)

地域外からの雪処理の担い手確保・育成と
担い手を受け入れる仕組みづくり

越中・雪かき道場

高齢化が進む豪雪地帯で広域的な支援を受けるため、除雪ボランティアに対して知識習得、研修の場や受け入れ訓練の場を提供するとともに、継続的な都会と地方の体験交流の場となるよう、全日本除雪ボランティア育成の取り組みを発信します。

- 開催日 平成21年2月13日(金)～14日(土)
- 開催地 ウイングウイング高岡 高岡市福岡沢町 高岡文化の森特設開場
- 参加費 無料(別途宿泊費が必要です)
- 宿泊地 とやま・ふくおか家族旅行村 ロッジ山ほうし
- 実施主体 「ゆきみらい2009in高岡」実行委員会 NPO法人中越防災フロンティア 社団法人日本建設機械化協会
- 後 援 高岡市社会福祉協議会

初級コース (1日5名)
雪かきの基礎を学びます。「雪かき道」(越後・信濃)に基づき、明確の講義を受講したのち、カンヅキの置き方、スcoopやスノーダンプの扱い方を練習します。雪かき体験やユキカキカルタなどによるレクリエーションも盛り込み、雪に慣れんでもらうことを目的としています。

中級コース (1日5名)
初級コースを修了した方を対象に、主に屋根雪除雪に関する技術を学びます。安全にハンゴをかけることから始め、屋根の雪を安全に効率的に除雪する方法を学びます。また、雪櫃(トヨ)や雪櫃の扱い方の講習も予定しています。

上級コース (1日1名) (2日1名) (2日1名) (2日1名) (2日1名)
単車より作業中に大量の雪処理ができるよう、ハイロード(5t以下)の操作技術を学びます。労働安全衛生法(第59号)にもとづく「小型車用建設機械(雪車等)運転業務」の特別教育(実技含む13時間)を含むため、この受講により修了証が授けられます。また、今後は日本建設機械化協会の協力により、ハンドガイド式小型除雪機の操作講習会も行います。

ゆきみらい2009in高岡
～開町400年のまちから～
平成21年2月12日(木)～2月14日(土)開催

TEL:0563-821111 FAX:0563-821112

資料：雪かき道場ちらし(NPO法人中越防災フロンティア提供)

視点② 安全性を高める

事故が発生したタイミングでの雪害事故防止の呼びかけ

厚別警察署西の里駐在所(TEL011-375-2555) 平成20年2月20日発行

雪下ろし中の 転落死亡事故 発生!!

2月18日、厚別区内において、マンション屋上で雪底を落とそうとした作業員が誤って転落し、死亡するという痛ましい事故が発生しました。
この時期は、屋根の雪下ろし作業中の転落、屋根から落ちた雪の下敷き、除雪機に巻き込まれるなどの事故が危険な状態です。

- ◎ 事故を防ぐために、次のことに注意しましょう。
- 屋根の雪や氷柱は早めに下ろしましょう。
- 雪下ろしは転落防止用のロープ等を装着し、屋根の下には見張りを用意しましょう。
- 危険な軒下は歩かない、子ども達を遊ばせないようにしましょう。
- 除雪機を使うときは、周囲の安全を確かめましょう。

資料：駐在所速報（札幌市厚別警察署提供）

駐在所速報 除雪中の事故多発！ 重傷者・死亡者が出ています！

慣れた作業であっても十分に注意しましょう

あつ、あつない！

- ◎ 家族などに知らせてから作業に取りかかりましょう。
- ◎ 一人で屋根に上るのはやめましょう。
- ◎ 命綱を付けて上りましょう。

横手警察署大森駐在所
26-2110

資料：駐在所速報（横手警察署提供）

積雪量、降雪量、最高気温に基づく事故の発生しやすいタイミングでの「雪下ろし・落雪事故防止注意喚起情報」の発信

注意喚起情報「雪下ろし・落雪事故防止注意喚起情報」の発信

(1) 注意喚起情報の内容

(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所の協力による、過去の気象データと人的被害の発生状況の分析結果に基づき、気象状況をもとにしたタイムリーな注意喚起情報を発信し、雪下ろし中の事故や落雪事故の防止をはかる。

(2) 注意喚起情報の発表

県ホームページ(こちら防災やまがた！)への掲載とともに、テレビ、ラジオ放送の活用など、放送事業者や報道機関の協力を得ながら、幅広く県民に情報を発信していく。

(3) 対象地区

山形市及びその周辺、新庄市及びその周辺、米沢市及びその周辺

分析結果に基づく注意喚起情報の発表基準

地域	基準① 積雪深	基準② 降雪量 (過去10日)	基準③ 最高気温
山形	20 cm以上	20 cm以上	-2℃以上
新庄	75 cm以上	15 cm以上	-2℃以上
米沢	45 cm以上	20 cm以上	-2℃以上

山形県より聞き取り

命綱の使い方をわかりやすくまとめた県民向けの雪下ろしガイドブック

屋根の雪下ろしは危険がいっぱい！

安全な 雪下ろしガイド

屋根の雪下ろしは、一人での作業や安全対策を怠ると、大きな事故につながります。

雪下ろし中の事故を防ぐポイントをお教えます!!

山形県

資料：安全な雪下ろしガイド(山形県提供)

安全・安心な冬の暮らしのための 雪下ろし作業8つのポイント！

ポイント1 屋根の雪のゆるみに注意！

- 雪が1日の半ばは特に注意しましょう。
- 屋根がけがきつてくるとくに注意しましょう。

ポイント2 安全な服装で！

- ヘルメットを正しく着用しましょう。
- 雪が飛ばないで動きやすい服装にしましょう。
- 厚手の長靴は履きましょう。
- 足裏の感触が大事です。
- 雪下ろしに1枚半袖のTシャツは危険です。

ポイント3 命綱を使いましょう！

- 転落防止のために命綱を使いましょう。
- 命綱には安全なフックやフックを買いましょう。トラロープは必ず新しいので、使わないようにしましょう。
- 命綱を確認するには、専用のアンカーを使う。反対側の壁に固定など、状況に応じて工夫しましょう。
- 命綱を体に固定するには、安全帯や腰回りの帯を使いましょう。
- 命綱は正しく結びましょう。
- 命綱は屋根の上でとる長さに調整しましょう。
- 命綱は正しく使用しないと、空に飛散です。

● 正しい結び方(命綱)の方法

克雪住宅を設計する際の基準を定めた建築物に関する指導要綱

落雪の様子

図1 図3 表(例) 基準①(20)での降雪量(20mm)

図2 図4 表(例) 基準②(20)での降雪量(20mm)

図5 図6 表(例) 基準③(20)での降雪量(20mm)

図7 図8 表(例) 基準④(20)での降雪量(20mm)

図9 図10 表(例) 基準⑤(20)での降雪量(20mm)

図11 図12 表(例) 基準⑥(20)での降雪量(20mm)

図13 図14 表(例) 基準⑦(20)での降雪量(20mm)

図15 図16 表(例) 基準⑧(20)での降雪量(20mm)

図17 図18 表(例) 基準⑨(20)での降雪量(20mm)

図19 図20 表(例) 基準⑩(20)での降雪量(20mm)

図21 図22 表(例) 基準⑪(20)での降雪量(20mm)

図23 図24 表(例) 基準⑫(20)での降雪量(20mm)

図25 図26 表(例) 基準⑬(20)での降雪量(20mm)

図27 図28 表(例) 基準⑭(20)での降雪量(20mm)

図29 図30 表(例) 基準⑮(20)での降雪量(20mm)

図31 図32 表(例) 基準⑯(20)での降雪量(20mm)

図33 図34 表(例) 基準⑰(20)での降雪量(20mm)

図35 図36 表(例) 基準⑱(20)での降雪量(20mm)

図37 図38 表(例) 基準⑲(20)での降雪量(20mm)

図39 図40 表(例) 基準⑳(20)での降雪量(20mm)

図41 図42 表(例) 基準㉑(20)での降雪量(20mm)

図43 図44 表(例) 基準㉒(20)での降雪量(20mm)

図45 図46 表(例) 基準㉓(20)での降雪量(20mm)

図47 図48 表(例) 基準㉔(20)での降雪量(20mm)

図49 図50 表(例) 基準㉕(20)での降雪量(20mm)

図51 図52 表(例) 基準㉖(20)での降雪量(20mm)

図53 図54 表(例) 基準㉗(20)での降雪量(20mm)

図55 図56 表(例) 基準㉘(20)での降雪量(20mm)

図57 図58 表(例) 基準㉙(20)での降雪量(20mm)

図59 図60 表(例) 基準㉚(20)での降雪量(20mm)

図61 図62 表(例) 基準㉛(20)での降雪量(20mm)

図63 図64 表(例) 基準㉜(20)での降雪量(20mm)

図65 図66 表(例) 基準㉝(20)での降雪量(20mm)

図67 図68 表(例) 基準㉞(20)での降雪量(20mm)

図69 図70 表(例) 基準㉟(20)での降雪量(20mm)

図71 図72 表(例) 基準㊱(20)での降雪量(20mm)

図73 図74 表(例) 基準㊲(20)での降雪量(20mm)

図75 図76 表(例) 基準㊳(20)での降雪量(20mm)

図77 図78 表(例) 基準㊴(20)での降雪量(20mm)

図79 図80 表(例) 基準㊵(20)での降雪量(20mm)

図81 図82 表(例) 基準㊶(20)での降雪量(20mm)

図83 図84 表(例) 基準㊷(20)での降雪量(20mm)

図85 図86 表(例) 基準㊸(20)での降雪量(20mm)

図87 図88 表(例) 基準㊹(20)での降雪量(20mm)

図89 図90 表(例) 基準㊺(20)での降雪量(20mm)

図91 図92 表(例) 基準㊻(20)での降雪量(20mm)

図93 図94 表(例) 基準㊼(20)での降雪量(20mm)

図95 図96 表(例) 基準㊽(20)での降雪量(20mm)

図97 図98 表(例) 基準㊾(20)での降雪量(20mm)

図99 図100 表(例) 基準㊿(20)での降雪量(20mm)

図101 図102 表(例) 基準1(20)での降雪量(20mm)

図103 図104 表(例) 基準2(20)での降雪量(20mm)

図105 図106 表(例) 基準3(20)での降雪量(20mm)

図107 図108 表(例) 基準4(20)での降雪量(20mm)

図109 図110 表(例) 基準5(20)での降雪量(20mm)

図111 図112 表(例) 基準6(20)での降雪量(20mm)

図113 図114 表(例) 基準7(20)での降雪量(20mm)

図115 図116 表(例) 基準8(20)での降雪量(20mm)

図117 図118 表(例) 基準9(20)での降雪量(20mm)

図119 図120 表(例) 基準10(20)での降雪量(20mm)

図121 図122 表(例) 基準11(20)での降雪量(20mm)

図123 図124 表(例) 基準12(20)での降雪量(20mm)

図125 図126 表(例) 基準13(20)での降雪量(20mm)

図127 図128 表(例) 基準14(20)での降雪量(20mm)

図129 図130 表(例) 基準15(20)での降雪量(20mm)

図131 図132 表(例) 基準16(20)での降雪量(20mm)

図133 図134 表(例) 基準17(20)での降雪量(20mm)

図135 図136 表(例) 基準18(20)での降雪量(20mm)

図137 図138 表(例) 基準19(20)での降雪量(20mm)

図139 図140 表(例) 基準20(20)での降雪量(20mm)

図141 図142 表(例) 基準21(20)での降雪量(20mm)

図143 図144 表(例) 基準22(20)での降雪量(20mm)

図145 図146 表(例) 基準23(20)での降雪量(20mm)

図147 図148 表(例) 基準24(20)での降雪量(20mm)

図149 図150 表(例) 基準25(20)での降雪量(20mm)

図151 図152 表(例) 基準26(20)での降雪量(20mm)

図153 図154 表(例) 基準27(20)での降雪量(20mm)

図155 図156 表(例) 基準28(20)での降雪量(20mm)

図157 図158 表(例) 基準29(20)での降雪量(20mm)

図159 図160 表(例) 基準30(20)での降雪量(20mm)

図161 図162 表(例) 基準31(20)での降雪量(20mm)

図163 図164 表(例) 基準32(20)での降雪量(20mm)

図165 図166 表(例) 基準33(20)での降雪量(20mm)

図167 図168 表(例) 基準34(20)での降雪量(20mm)

図169 図170 表(例) 基準35(20)での降雪量(20mm)

図171 図172 表(例) 基準36(20)での降雪量(20mm)

図173 図174 表(例) 基準37(20)での降雪量(20mm)

図175 図176 表(例) 基準38(20)での降雪量(20mm)

図177 図178 表(例) 基準39(20)での降雪量(20mm)

図179 図180 表(例) 基準40(20)での降雪量(20mm)

図181 図182 表(例) 基準41(20)での降雪量(20mm)

図183 図184 表(例) 基準42(20)での降雪量(20mm)

図185 図186 表(例) 基準43(20)での降雪量(20mm)

図187 図188 表(例) 基準44(20)での降雪量(20mm)

図189 図190 表(例) 基準45(20)での降雪量(20mm)

図191 図192 表(例) 基準46(20)での降雪量(20mm)

図193 図194 表(例) 基準47(20)での降雪量(20mm)

図195 図196 表(例) 基準48(20)での降雪量(20mm)

図197 図198 表(例) 基準49(20)での降雪量(20mm)

図199 図200 表(例) 基準50(20)での降雪量(20mm)

図201 図202 表(例) 基準51(20)での降雪量(20mm)

図203 図204 表(例) 基準52(20)での降雪量(20mm)

図205 図206 表(例) 基準53(20)での降雪量(20mm)

図207 図208 表(例) 基準54(20)での降雪量(20mm)

図209 図210 表(例) 基準55(20)での降雪量(20mm)

図211 図212 表(例) 基準56(20)での降雪量(20mm)

図213 図214 表(例) 基準57(20)での降雪量(20mm)

図215 図216 表(例) 基準58(20)での降雪量(20mm)

図217 図218 表(例) 基準59(20)での降雪量(20mm)

図219 図220 表(例) 基準60(20)での降雪量(20mm)

図221 図222 表(例) 基準61(20)での降雪量(20mm)

図223 図224 表(例) 基準62(20)での降雪量(20mm)

図225 図226 表(例) 基準63(20)での降雪量(20mm)

図227 図228 表(例) 基準64(20)での降雪量(20mm)

図229 図230 表(例) 基準65(20)での降雪量(20mm)

図231 図232 表(例) 基準66(20)での降雪量(20mm)

図233 図234 表(例) 基準67(20)での降雪量(20mm)

図235 図236 表(例) 基準68(20)での降雪量(20mm)

図237 図238 表(例) 基準69(20)での降雪量(20mm)

図239 図240 表(例) 基準70(20)での降雪量(20mm)

図241 図242 表(例) 基準71(20)での降雪量(20mm)

図243 図244 表(例) 基準72(20)での降雪量(20mm)

図245 図246 表(例) 基準73(20)での降雪量(20mm)

図247 図248 表(例) 基準74(20)での降雪量(20mm)

図249 図250 表(例) 基準75(20)での降雪量(20mm)

図251 図252 表(例) 基準76(20)での降雪量(20mm)

図253 図254 表(例) 基準77(20)での降雪量(20mm)

図255 図256 表(例) 基準78(20)での降雪量(20mm)

図257 図258 表(例) 基準79(20)での降雪量(20mm)

図259 図260 表(例) 基準80(20)での降雪量(20mm)

図261 図262 表(例) 基準81(20)での降雪量(20mm)

図263 図264 表(例) 基準82(20)での降雪量(20mm)

図265 図266 表(例) 基準83(20)での降雪量(20mm)

図267 図268 表(例) 基準84(20)での降雪量(20mm)

図269 図270 表(例) 基準85(20)での降雪量(20mm)

図271 図272 表(例) 基準86(20)での降雪量(20mm)

図273 図274 表(例) 基準87(20)での降雪量(20mm)

図275 図276 表(例) 基準88(20)での降雪量(20mm)

図277 図278 表(例) 基準89(20)での降雪量(20mm)

図279 図280 表(例) 基準90(20)での降雪量(20mm)

図281 図282 表(例) 基準91(20)での降雪量(20mm)

図283 図284 表(例) 基準92(20)での降雪量(20mm)

図285 図286 表(例) 基準93(20)での降雪量(20mm)

図287 図288 表(例) 基準94(20)での降雪量(20mm)

図289 図290 表(例) 基準95(20)での降雪量(20mm)

図291 図292 表(例) 基準96(20)での降雪量(20mm)

図293 図294 表(例) 基準97(20)での降雪量(20mm)

図295 図296 表(例) 基準98(20)での降雪量(20mm)

図297 図298 表(例) 基準99(20)での降雪量(20mm)

図299 図300 表(例) 基準100(20)での降雪量(20mm)

図301 図302 表(例) 基準101(20)での降雪量(20mm)

図303 図304 表(例) 基準102(20)での降雪量(20mm)

図305 図306 表(例) 基準103(20)での降雪量(20mm)

図307 図308 表(例) 基準104(20)での降雪量(20mm)

図309 図310 表(例) 基準105(20)での降雪量(20mm)

図311 図312 表(例) 基準106(20)での降雪量(20mm)

図313 図314 表(例) 基準107(20)での降雪量(20mm)

図315 図316 表(例) 基準108(20)での降雪量(20mm)

図317 図318 表(例) 基準109(20)での降雪量(20mm)

図319 図320 表(例) 基準110(20)での降雪量(20mm)

図321 図322 表(例) 基準111(20)での降雪量(20mm)

図323 図324 表(例) 基準112(20)での降雪量(20mm)

図325 図326 表(例) 基準113(20)での降雪量(20mm)

図327 図328 表(例) 基準114(20)での降雪量(20mm)

図329 図330 表(例) 基準115(20)での降雪量(20mm)

図331 図332 表(例) 基準116(20)での降雪量(20mm)

図333 図334 表(例) 基準117(20)での降雪量(20mm)

図335 図336 表(例) 基準118(20)での降雪量(20mm)

図337 図338 表(例) 基準119(20)での降雪量(20mm)

図339 図340 表(例) 基準120(20)での降雪量(20mm)

図341 図342 表(例) 基準121(20)での降雪量(20mm)

図343 図344 表(例) 基準122(20)での降雪量(20mm)

図345 図346 表(例) 基準123(20)での降雪量(20mm)

図347 図348 表(例) 基準124(20)での降雪量(20mm)

図349 図350 表(例) 基準125(20)での降雪量(20mm)

図351 図352 表(例) 基準126(20)での降雪量(20mm)

図353 図354 表(例) 基準127(20)での降雪量(20mm)

図355 図356 表(例) 基準128(20)での降雪量(20mm)

図357 図358 表(例) 基準129(20)での降雪量(20mm)

図359 図360 表(例) 基準130(20)での降雪量(20mm)

図361 図362 表(例) 基準131(20)での降雪量(20mm)

図363 図364 表(例) 基準132(20)での降雪量(20mm)

図365 図366 表(例) 基準133(20)での降雪量(20mm)

図367 図368 表(例) 基準134(20)での降雪量(20mm)

図369 図370 表(例) 基準135(20)での降雪量(20mm)

図371 図372 表(例) 基準136(20)での降雪量(20mm)

図373 図374 表(例) 基準137(20)での降雪量(20mm)

図375 図376 表(例) 基準138(20)での降雪量(20mm)

図377 図378 表(例) 基準139(20)での降雪量(20mm)

図379 図380 表(例) 基準140(20)での降雪量(20mm)

図381 図382 表(例) 基準141(20)での降雪量(20mm)

図383 図384 表(例) 基準142(20)での降雪量(20mm)

図385 図386 表(例) 基準143(20)での降雪量(20mm)

図387 図388 表(例) 基準144(20)での降雪量(20mm)

図389 図390 表(例) 基準145(20)での降雪量(20mm)

図391 図392 表(例) 基準146(20)での降雪量(20mm)

図393 図394 表(例) 基準147(20)での降雪量(20mm)

図395 図396 表(例) 基準148(20)での降雪量(20mm)

図397 図398 表(例) 基準149(20)での降雪量(20mm)

図399 図400 表(例) 基準150(20)での降雪量(20mm)

図401 図402 表(例) 基準151(20)での降雪量(20mm)

図403 図404 表(例) 基準152(20)での降雪量(20mm)

図405 図406 表(例) 基準153(20)での降雪量(20mm)

図407 図408 表(例) 基準154(20)での降雪量(20mm)

図409 図410 表(例) 基準155(20)での降雪量(20mm)

図411 図412 表(例) 基準156(20)での降雪量(20mm)

図413 図414 表(例) 基準157(20)での降雪量(20mm)

図415 図416 表(例) 基準158(20)での降雪量(20mm)

図417 図418 表(例) 基準159(20)での降雪量(20mm)

図419 図420 表(例) 基準160(20)での降雪量(20mm)

図421 図422 表(例) 基準161(20)での降雪量(20mm)

図423 図424 表(例) 基準162(20)での降雪量(20mm)

図425 図426 表(例) 基準163(20)での降雪量(20mm)

図427 図428 表(例) 基準164(20)での降雪量(20mm)

図429 図430 表(例) 基準165(20)での降雪量(20mm)

図431 図432 表(例) 基準166(20)での降雪量(20mm)

図433 図434 表(例) 基準167(20)での降雪量(20mm)

図435 図436 表(例) 基準168(20)での降雪量(20mm)

図437 図438 表(例) 基準169(20)での降雪量(20mm)

図439 図440 表(例) 基準170(20)での降雪量(20mm)

図441 図442 表(例) 基準171(20)での降雪量(20mm)

図443 図444 表(例) 基準172(20)での降雪量(20mm)

図445 図446 表(例) 基準173(20)での降雪量(20mm)

図447 図448 表(例) 基準174(20)での降雪量(20mm)

図449 図450 表(例) 基準175(20)での降雪量(20mm)

図451 図452 表(例) 基準176(20)での降雪量(20mm)

図453 図454 表(例) 基準177(20)での降雪量(20mm)

図455 図456 表(例) 基準178(20)での降雪量(20mm)

図457 図458 表(例) 基準179(20)での降雪量(20mm)

図459 図460 表(例) 基準180(20)での降雪量(20mm)

図461 図462 表(例) 基準181(20)での降雪量(20mm)

図463 図464 表(例) 基準182(20)での降雪量(20mm)

図465 図466 表(例) 基準183(20)での降雪量(20mm)

図467 図468 表(例) 基準184(20)での降雪量(20mm)

図469 図470 表(例) 基準185(20)での降雪量(20mm)

図471 図472 表(例) 基準186(20)での降雪量(20mm)

図473 図474 表(例) 基準187(20)での降雪量(20mm)

図475 図476 表(例) 基準188(20)での降雪量(20mm)

図477 図478 表(例) 基準189(20)での降雪量(20mm)

図479 図480 表(例) 基準190(20)での降雪量(20mm)

図481 図482 表(例) 基準191(20)での降雪量(20mm)

図483 図484 表(例) 基準192(20)での降雪量(20mm)

図485 図486 表(例) 基準193(20)での降雪量(20mm)

図487 図488 表(例) 基準194(20)での降雪量(20mm)

図489 図490 表(例) 基準195(20)での降雪量(20mm)

図491 図492 表(例) 基準196(20)での降雪量(20mm)

図493 図494 表(例) 基準197(20)での降雪量(20mm)

図495 図496 表(例) 基準198(20)での降雪量(20mm)

図497 図498 表(例) 基準199(20)での降雪量(20mm)

図499 図500 表(例) 基準200(20)での降雪量(20mm)

図501 図502 表(例) 基準201(20)での降雪量(20mm)

図503 図504 表(例) 基準202(20)での降雪量(20mm)

図505 図506 表(例) 基準203(20)での降雪量(20mm)

図507 図508 表(例) 基準204(20)での降雪量(20mm)

図509 図510 表(例) 基準205(20)での降雪量(20mm)

図511 図512 表(例) 基準206(20)での降雪量(20mm)

図513 図514 表(例) 基準207(20)での降雪量(20mm)

図515 図516 表(例) 基準208(20)での降雪量(20mm)

図517 図518 表(例) 基準209(20)での降雪量(20mm)

図519 図520 表(例) 基準210(20)での降雪量(20mm)

図521 図522 表(例) 基準211(20)での降雪量(20mm)

図523 図524 表(例) 基準212(20)での降雪量(20mm)

図525 図526 表(例) 基準213(20)での降雪量(20mm)

図527 図528 表(例) 基準214(20)での降雪量(20mm)

図529 図530 表(例) 基準215(20)での降雪量(20mm)

図531 図532 表(例) 基準216(20)での降雪量(20mm)

図533 図534 表(例) 基準217(20)での降雪量(20mm)

図535 図536 表(例) 基準218(20)での降雪量(20mm)

図537 図538 表(例) 基準219(20)での降雪量(20mm)

図539 図540 表(例) 基準220(20)での降雪量(20mm)

図541 図542 表(例) 基準221(20)での降雪量(20mm)

図543 図544 表(例) 基準222(20)での降雪量(20mm)

図545 図546 表(例) 基準223(20)での降雪量(20mm)

図547 図548 表(例) 基準224(20)での降雪量(20mm)

図549 図550 表(例) 基準225(20)での降雪量(20mm)

図551 図552 表(例) 基準226(20)での降雪量(20mm)

図553 図554 表(例) 基準227(20)での降雪量(20mm)

図555 図556 表(例) 基準228(20)での降雪量(20mm)

図557 図558 表(例) 基準229(20)での降雪量(20mm)

図559 図560 表(例) 基準230(20)での降雪量(20mm)

図561 図562 表(例) 基準231(20)での降雪量(20mm)

図563 図564 表(例) 基準232(20)での降雪量(20mm)

図565

視点③ 被害の程度を軽減

除雪済みの硬い地面の危険性を周知

資料:「屋根の雪下ろし3つの用心」チラシ(北陸地方豪雪対策検討会)

フェールセーフの視点を周知

キーワードは「フェールセーフ」

- 「もしも滑って転んだら…」と、転んでも転落しないように意識することが大切です。
- 常に、屋根の端を確認。雪庇を踏み抜くと転落します。
- 屋根にかかる荷重は数10トン。バランスに配慮した手順で下ろしてゆきます。

作業編

第六章 屋根の雪を下ろす その1 雪下ろしの進め方

キーワードは「フェールセーフ」

- 「もしも滑って転んだら…」と、転んでも転落しないように意識することが大切です。
- 常に、屋根の端を確認。雪庇を踏み抜くと転落します。
- 屋根にかかる荷重は数10トン。バランスに配慮した手順で下ろしてゆきます。

雪下ろしの手順

表側に落ちる場合

- ① 荷重バランスを考えた手順
- ② 大勢で同時に進める手順

軒先に落ちる場合

- ① 軒先は多めに積雪を積みまわろう。

下ろす先を工夫すると雪が溜ります。

- 家からなるべく遠く、玄関・非常口・ガラス壁があるところには、なるべく下ろさないように。
- 勾配タンク周辺・フロア・ガス配管・煙突の周辺・給排水口の周辺など屋外に設置した衛生設備などの周辺には、なるべく下ろさない。
- 上からは見えにくいので、下にいる人に確認してもらいましょう。

目的別 屋根の種類

- カワラ屋根**
 - 滑りにくい。スコップやスノーダンプで雪つけないよう屋根の上の積雪をある程度(10~15cm)残すこと。
- トタン屋根**
 - 滑りやすい。安全のために屋根の上の積雪を多めに(20~30cm)残すこと。
- 平屋根**
 - 雪が落ちることはないが、屋根の端がわりにくい。
 - パラペット、手すりなど付帯物が多い。
 - ため込みに注意。

雪かき道 越後流 指南書

虎ノ巻

雪かきの極意 伝授します!

「雪かき道 越後流 指南書」編集委員会
平成19年2月

資料:雪かき道越後流指南書 (NPO法人中越防災フロンティア提供)

視点④ 作業から解放

要援護世帯を支援 ー除雪の援助を受けたい人と援助を行いたい人の相互援助活動の支援

旭川市福祉除雪サービスのご案内

雪でお困りの方に
除雪のサービスを行います
雪のにおいに温もりをそえて



スノーサポート隊募集中

除雪のお手伝いしてみませんか
※スノーサポート隊（除雪活動に参加する方）
除雪活動ができる個人またはグループ（家族、近所、事業所企業など市民のみ）の協力をお待ちしております。

詳しくは次のページをご覧ください。

福祉除雪サービスとは

福祉除雪サービス事業は、冬期間も安心して暮らせる市民生活を実現して、地域において除雪の援助を受けたい人と、援助を行いたい人により、地域の相互援助活動を支援します。

福祉除雪サービスのしくみ



センターから、提供会員（スノーサポート隊）を紹介し、会員間で顔合わせをしていただきます。

このサービスを利用することができる方

以下のいずれかに該当する方で、扶養義務者（母子、娘等）による除雪が困難な世帯。

- ＜高齢者世帯＞ おおむね75歳以上の高齢者世帯で自力で除雪をすることが出来ない（身体的理由等）世帯。
- ＜身体障害者世帯＞ 身体障害者手帳1,2級の方（重身体障害者）
- ＜母子世帯＞ 身体等虚置な母子世帯

資料：旭川市福祉除雪サービスの案内パンフレット（旭川市社会福祉協議会提供）

要援護世帯を支援 ー地域の中高生も参加できる除雪ボランティア隊の設置、活動の仕組みづくり（1,000人以上の登録者）

“雪の心配ご無用” 私たちにお任せ下さい！

除雪ボランティア隊

- 参加者数**
【事業所、団体から】17 団体 278名
【中学校、高校から】7中学校・2高校 76名
合計1,045名（平成19年2月13日現在）
- 活動日**
基本的に、日の届かない雪が緊急の依頼については、対応できるボランティアがいる場合変更することもあります。
- 用具**
社会福祉協議会でスノーダンプやスコップがありますのでボランティア活動要請の際、必要な備品お申し付けください。
- ケガなどの保証について**
ボランティア活動中やボランティアに向かう途中、帰る途中に事故やケガなどに対応するために「除雪ボランティア隊」参加者は全員、当社協会でボランティア保険に加入致します。



社会福祉法人
湯沢市社会福祉協議会
〒012-0815 湯沢市吉館町4番5号 TEL:0183(73)8696

資料：湯沢市除雪ボランティア隊パンフレット（湯沢市社会福祉協議会提供）

克雪住宅・宅地内消雪施設の整備に対する費用補助

克雪住宅・宅地内消雪設備の補助制度交付案内

平成20年度の克雪住宅・宅地内消雪設備の補助申請の受付を開始します。

対象となる世帯	克雪すまいづくり支援事業補助金	宅地内消雪設備整備費促進事業補助金
対象となる世帯	南魚沼市に居住する者または居住の届出している者が、南魚沼市に克雪住宅を新築、増築、取壊し及び購入、または完全所有型賃貸住宅を新築する世帯	南魚沼市に居住する者または居住の届出している者が、南魚沼市に克雪住宅を新築、増築、取壊し及び購入、または完全所有型賃貸住宅を新築する世帯
申請期間	平成20年11月30日まで （申請開始：平成20年11月1日）	平成20年度から平成21年度は10月31日まで （申請開始：平成20年10月1日）
補助対象工事	宅地内消雪設備の設置（敷設区下地域のみ） 【上限25.0万円】	宅地内消雪設備の設置工事 【上限10.5万円】
補助率及び補助金の額	補助対象工事費の17.6%（千円未満は切捨て） 【限度額4.4万円】	補助対象工事費の15%（千円未満は切捨て） 【限度額1.5万円】
補助対象地域	市内全域	敷設区下地域のみ
対象となる世帯	30戸	10戸

＜申込方法＞
○受付 平成20年4月3日（木）より即日開始（受付3期）で受け付けます。
○工事申請前に必要書類を揃えてから申請してください。
○本金は限りありです。先着順に申し込みを優先して受付をいたします。

○提出書類の申請書は、都市計画課（本庁舎）、大和市民センター、塩川市民センターにあります。
○申請書は、素書用紙、納税証明書、工事計画図、履修方式等資料（カネドラ等）
○建築確認済書の写し（新築・増築時） 建築確認申請受領証明書（改築時） 立地届
その他必要書類（下記に該当する場合は、提出してください）
○新築時は、確定申告書の写し
○利用住宅は、早業団に全体協議と住居協議を記入（住居部分に専念）
○一部克雪化は、屋敷の区画に全体協議と住居協議を記入

○宅地内消雪 敷設区

○対象工事内容
●写し（設計書、工事中完成）は提出報告に必要となりますので、忘れずに提出してください。
●一部克雪化の場合は、本題を含む費用見積書の提出が必須となります。
●併用住宅の場合は、併用部分が2分の1以上となります。
●新築式、増築式、地下室を利用した敷設区は対象外となります。
●湯川に克雪住宅の補助を受けた住宅は対象外となります。
●塩川に居住する世帯は、申請期間中の申請は受け付けません。
●申請書類に、一部情報以上の管理を受けた方は、就労住宅宅電化対策事業（借住型）申請書と補助金をご利用ください。

○申請・問い合わせ先 南魚沼市役所（本庁舎） 都市計画課 施設課 TEL:773-6662

資料：克雪住宅・宅地内消雪設備補助制度の案内（南魚沼市提供）

十日町市克雪住宅環境整備支援事業（克雪住宅協賛整備事業）実施要綱

平成17年4月1日
告示第●号

（趣旨）
第1条 克雪住宅協賛整備事業を行う地区内で、克雪住宅の整備を行う者に対し、予算の範囲内において補助金を交付するものとし、その交付に關しては十日町市補助金交付規則（平成17年10月10日町市規則第64号）に定めるもののほか、この告示に定めるところによる。

（目的）
第2条 この事業は、克雪住宅特別業法（昭和37年法律第73号）第2条第1項の規定により指定された特別克雪地区において、克雪住宅の集団的促進と雪下ろしに伴う交通障害の解消並びに住民の経済的負担の軽減と危険防止を図るとともに快適な住環境の改善を旨とする。

（定義）
第3条 この告示において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 十日町市克雪住宅環境整備支援事業 新潟県民克雪住宅環境整備支援事業及びこの告示で定めるところに従って行われる克雪住宅協賛整備事業をいう。
- 克雪住宅協賛整備事業地区 町内会等の一定のコミュニティーを形成し、整備指針及び除雪計画を策定した地区で計画の具体的実施に向けた取組みが認められた地区として、市長が指定した地区（以下「事業地区」という。）をいう。
- 事業地区整備指針 この告示に基づき、事業地区整備に関する基本方針等を定めている指針をいう。
- 事業地区除雪指針 事業地区内の住民を対象とするコミュニティー確保のため、克雪住宅の集団的整備事業や除雪活動等について定める計画をいう。
- 克雪住宅 自ら住居し、又は所有する一戸建の住宅（併用住宅を含む。）並びに共同住宅で別荘兼1以上掲げるものをいう。
- 克雪住宅の整備 克雪住宅の新築、増築、改築及び改良をいい、原則として床下及び壁面による地下水管・浴室施設で市長が指定と認めるものを設置したものでなければならない。

資料：克雪住宅環境整備支援事業実施要綱（十日町市提供）

(参考) 雪害以外に関する事故防止

警察、道路管理者(国、県)が連携した冬シーズン前の交通事故防止の注意喚起

冬タイヤは早めの装着を!

慣れた道が、**恐怖の道になる前に!**

雪道の危険

11月は雪の赤信号!

年	1位	2位	3位
平成14年	11月2日	11月12日	11月14日
平成15年	11月2日	11月13日	11月26日

資料: 冬タイヤ装着運動チラシ (東北地方整備局 湯沢・秋田・能代河川国道事務所、秋田県、秋田県警察本部など)

雪みちでの転倒事故防止に向けた総合的な取組・情報発信

転ばないコツをおしえます。

ただいま札幌の気象情報
2008年12月18日 木曜日 12時現在
気温: 8度
風向: 北北西 風速: 4m/s
降水量: 0mm 積雪深: 0cm

What's New
2008.12/16 コラムvol.40を更新しました。
2008.12/8 雪みちウォーキングマップができました!
2008.12/8 コラムvol.39を更新しました。
2008.11/5 コラム Vol.38 を更新しました。
2008.10/16 コラム Vol.37 を更新しました。

お役立ちリンク集
会員の紹介
住むるの出版
(株)アルファエック
札幌スタイル・デザイン
札幌総合情報センター
(株)シーシーサービス
(株)白石コム製靴所
(株)グッド
(株)特殊衣料
(株)日新企画
(株)日本気象協会北海道

今年こそは 転ばない

つるつる路面を安心して歩くための心得!

ひと冬に、1,000人以上が救急搬送されることも!

札幌市内では、平成9年から平成18年の11年間、もっとも多い年で1,009人が転倒事故で救急搬送されました。この搬送された人は、雪みちで転んでいる人の氷山の一角でしかないと思われます。また、年齢が高くなるほど重傷を負う危険性が高くなるという調査結果も出ています。

【雪みち転倒による救急搬送者数の推移】
(注: 平成9年度～平成18年度(12月～3月))

年度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
人数	648	800	748	728	816	927	890	1009	811	879

さっぽろウインターライフ推進協議会

歩幅でそろそろ
③ 急がず、焦らず、余裕を持って歩く

10分前には遅くかな

資料: 「転ばないコツ 札幌発! 雪みちを安全・快適に歩くための総合情報サイト」 (さっぽろウインターライフ推進協議会 ホームページより引用)

5. 個別被災事例 調査項目

① 第一次ヒアリング項目（関係機関）

1. 基礎項目（各原因共通）

- i) 被災者情報
 - 住所（地区）
 - 職業
 - 世帯構成
 - 健康状態
- ii) 事故の状況
 - 発生時刻
 - 事故発生場所
 - 被災時の人数
 - 一緒にいた人
 - 事故の概要
 - 事故の原因
- iii) 発見時の様子
 - 発見者
 - 発見時刻
 - 発見時の犠牲者の状況
- iv) 天候・積雪
 - 事故時の天候
 - 積雪の状況
- v) 望まれる対策
 - 事故回避のために望まれる対策

2. 事故原因別の補足項目

- i) 屋根からの転落（除雪作業中）
 - シーズンで何回目の雪下ろしか
 - 屋根、屋根の下、家屋周辺の積雪状況
 - 被災者の装備
 - 被災者の日頃の除雪作業の状況
 - 被災者の除雪作業に対する慣れ
 - 家・屋根の構造、転落防止対策の有無
- ii) はしごからの転落（上記 i の項目に加え）
 - はしごの種類、はしごの立てかけ方、場所
- iii) 屋根からの落雪
 - 普段の屋根からの落雪の状況
 - 被災者が屋根の下にいた理由
 - 家・屋根の構造
 - 屋根からの落雪防止対策の有無
- iv) 水路等への転落
 - 被災時の水路等の状況
 - 水路等周辺の積雪状況
- v) 除雪機による事故（撒き込み等）
 - 使用していた除雪機のタイプ（製造年）
 - 安全装置の有無
 - 作業者の除雪機運転の慣れ

②第二次ヒアリング項目(被災者本人・家族)

1. 基礎項目(共通)

- i) 被災者について
 - 住所(地区)
 - 職業
 - 世帯構成・人数(被災当時)
 - 健康状態
- ii) 事故の内容について
 - 発生日・時刻
 - 作業開始時刻
 - 発生場所
 - 被災時の天気
 - 被災時の履物、服装、被り物
 - 被災時の人数
 - 一緒にいた人
 - 発見した人
 - 発見時刻
 - 被害の状況
 - 事故の状況、原因
 - 事故防止の対策
 - 今後望まれる対策
- iii) 被災者の日常の除雪作業について
 - 屋根の雪下ろし
 - 住宅周りの除雪
 - 日頃の除雪の苦勞
 - 他に経験した雪の事故 ヒヤリ・ハット
- iv) 地域コミュニティについて
 - 地域・地区の名称、世帯数(概数)
 - 地域コミュニティ活動
 - 雪処理の共助活動
 - 地域で発生している雪の事故の例
 - 地域共助でできる 雪害防止対策(提案)
 - 地域住民、知人等に自宅の雪処理を依頼する際の心理

2. 事故原因別にみた主な補足項目

- i) 屋根からの転落(はしごからの転落)
 - 昨冬何回目の雪下ろしでの事故か
 - 事故の起きた建物
 - 転落した屋根(階数、屋根のタイプ、材質、傾斜)
 - 転落箇所の雪止め
 - 使用していた道具(スコップ、スノーダンプ、はしご)
 - 命綱
 - 積雪の深さ(屋根、地面)
- ii) 屋根からの落雪
 - 事故の起きた建物
 - 落雪がおきた屋根(階数、屋根のタイプ、材質、傾斜)
 - 落雪箇所の雪止め
 - 使用していた道具(スコップ、スノーダンプ)
 - 積雪の深さ(屋根)
 - 軒下にいた理由
 - これまでの落雪の有無
 - 日頃から落雪に気をつけていたか
- iii) 除雪機による事故
 - 使用していた除雪機
 - 除雪していた場所
 - 積雪の深さ(地面)
 - 除雪機の操作に慣れていたか
 - 運転の注意事項を日頃、守っていたか
 - 購入時に運転方法の説明を受けたか
- iv) 発症
 - 昨冬何回目の雪下ろしでの事故か
 - 事故の起きた建物
 - 作業をしていた屋根(階数、屋根のタイプ、材質)
 - 作業をしていた箇所の雪止め
 - 使用していた道具(スコップ、スノーダンプ)
 - 積雪の深さ(屋根)